

平成31年3月6日(水)

明日は、Ⅱ期選抜

Ⅰ期選抜、卒業式と学校の大きな行事を過ごしてきましたが、いよいよⅡ期選抜が明日から始まります。万難を排して、入試業務を行います。並行して、国立大学前期試験の発表があり、3年生の先生方にとっては気が気ではない時期となります。

ところで、今年の磐城高校生徒会誌をお読みになられましたか。私は、その第一稿のゲラを読んだときに、前生徒会長の佐藤さんの文章の最後の一節に心が震えました。

「磐城高校という同じ場所、平成30年という同じ時間に一旦は交わった私たち一人一人の線。もしそれが、また再び、いつか何処かで交わることがあったらというかすかな希望を抱きつつ、高校生活にピリオドを打つ。

最後に陳腐な言葉ではあるが、私は、何かの、誰かの、社会の役に立つ人でありたいという決意をしるす。たとえどんな力でも、それが何番目になっても。」

昔、半谷匠という生徒が、センターテスト前に私に宛てて「出師の表」を書き、残していったのを思い出しました。諸葛亮孔明にあやかっただと思いません。

今回の文章はそれに匹敵する決意とそれ以上の覚悟を私に印象付けました。陳腐どころではない、感動の決意と覚悟でありました。

明日のⅡ期選抜を受けて合格を目指す中学生の皆さんも、思い残すことなく全力でチャレンジしていただきたいと思います。

教職員一丸で次なる磐城高校を背負う人材が育つ学校にしていきます。